

日興AMファンドアカデミー
ベーシック

「3.11」から1年、 日興アセットマネジメントが お伝えしたいこと

人が前を向く力とマーケットの回復力

東日本大震災から1年が経ちました。被災地の皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

一日も早い復興を願うばかりですが、一方で「ポスト3.11」ともいべき新しい価値観や考え方も芽生えてきているようです。そしてそれは資産運用にも少なからず影響があるものだと、日興アセットは考えています。

私たちが認識させられたもの

2012年の日本と世界経済

今後の資産運用の枠組み

日興アセットマネジメント

日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会

1 人が前を向く力

日興アセットでは社員約55名が被災地ボランティアに参加し、瓦礫の処理や子どものケアなどをお手伝いさせていただきました。その後も現地の支援団体とコミュニケーションを図っていますが、お聞きする限り、いまだ「復興」と呼ぶには時間がかかりそうな現状のようです。

しかしそれでも、最近のニュースや以下の調査などに垣間見られるのは、困難はあっても「前を向く力」の芽生えではないでしょうか。

Q. 2012年を表す漢字一字は？

想起された277文字の内のベスト4

希・進・和・明

Q. 震災後に意識が高まったことは？



出所：電通（2012年2月8日発表）

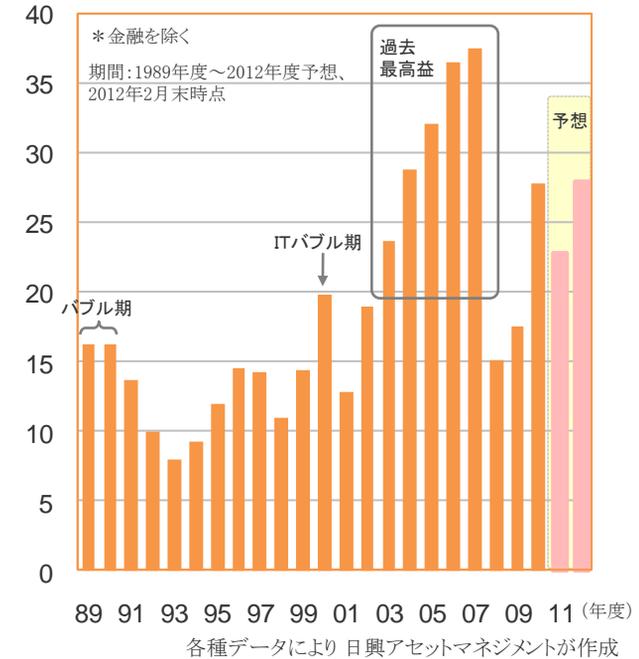
2 企業の力

2011年は「3.11」の後にも、夏頃からは欧州債務問題の再燃や世界景気の悪化懸念、加えてタイの大洪水で日本企業が甚大なダメージを受けるなど、予期せぬ出来事が相次ぎました。急激な円高も日本企業を苦しめました。

それでも日本企業は予想を上回るスピードで東北地方の工場や物流を復旧。タイの大洪水や円高にも立ち向かっており、2012年度は増益となる企業も多いと見られています。

震災後改めて、私たちは常に前進する企業、特に日本企業の底力を知ったのではないのでしょうか。

東証一部上場企業*の経常利益合計の推移

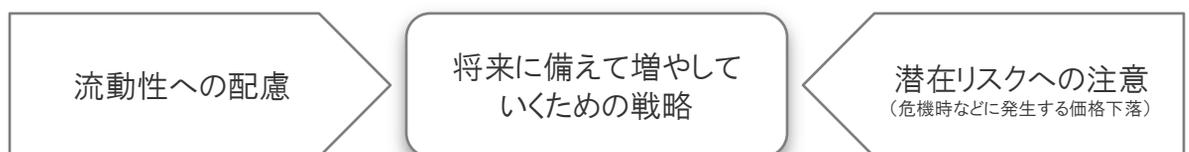


3 流動性の重要性と潜在リスク

資産運用に関しては「2つの流動性」の大切さを認識させられました。ひとつは、預貯金や低リスクファンドのような換金(流動化)のタイミングをあまり選ばない金融商品を保有する重要性。もうひとつは、危機時には流動性の乏しいマーケット、あるいは市場規模の小さなマーケットほど下落が大きくなる傾向です。

また、平穏な時には「ハイリスク・ハイリターン」の原則を忘れてしまいがちですが、リスクに敏感なマーケット環境になった途端、それまでハイリターンだったもののほど価格が大きく下落したことも、私たちが経験したことでした。

左ページの調査にあるように、「将来に備えて」増やしていくことをめざしながらも、流動性と潜在リスク(危機時などに発生する価格下落)に目配りをした戦略が重要になっているといえます。



1 いよいよ実行段階に入る「復興」

東日本大震災からの復興にあたっては、震災後10年間で23兆円もの事業規模が必要と見込まれています。阪神・淡路大震災と比較して被害規模は1.7倍にも上ります。

震災後1年間の復興に向けての動きは決して速くありませんでしたが、2012年はいよいよ実行段階に入り、具体的な成果を目にすることができるでしょう。その効果は東北地方だけに留まらず、日本全体の景気にとってもプラスに作用することが期待されています。

■ 東日本大震災からの復興予算計画

震災後10年間にわたって23兆円もの事業規模が必要と見込まれている。



■ 阪神・淡路大震災との被害額比較

政府資料など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

阪神・淡路大震災

東日本大震災

2

欧州債務問題や米景気悪化に縮んだ世界景気にも、底入れの兆し

日本だけでなく、2011年は世界経済にも逆風が吹いた1年でした。しかし、企業の購買担当者による景気指数(PMI)は、世界の製造業の景況感が、昨年11月頃を底に改善に向かっていていることを示しています。

世界のGDPの4分の1を占める米国経済に回復の兆しが見えることも、世界経済に明るさをもたらしています。最悪期には10%に及んだ失業率が1月には8.3%と目に見えて低下してきたことは、米国だけでなく世界経済にも大きな意味を持ちます。

また、新興国も含めた世界の中央銀行が金融緩和の姿勢を強めていることも、当面の景気下支えにはプラス。米国では1月に、少なくとも2014年終盤までゼロ金利を続ける意向が示され、2月中旬には日銀も物価上昇率の前年比1%上昇をメドとした緩和継続を表明しました。副作用の可能性が指摘されつつも、金融面での景気下支え効果に今後への期待がつながれた格好です。

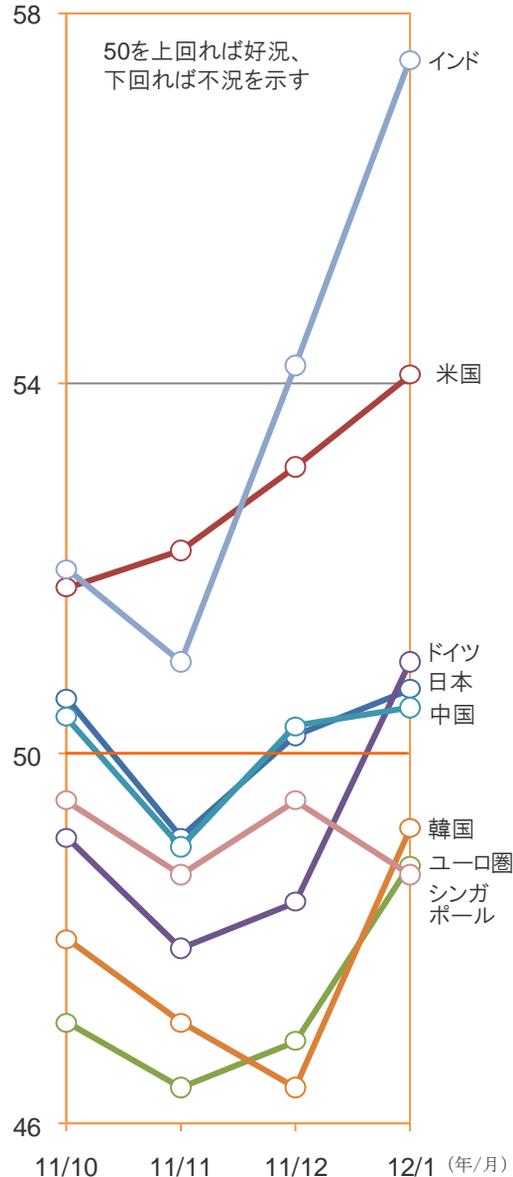
■ 米国失業率の推移



期間：2000年1月～2012年1月

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

■ 購買担当者景気指数(PMI)



購買担当者景気指数(PMI)

原材料や部品の調達を担う人から、前月と比べた売上や受注、在庫水準などを毎月聞き取って集計したもの。指数が50を上回れば好況、下回れば不況を示す。

出所：日本経済新聞 2012年2月10日

1 “リスクオン” ～マーケットの回復力～

実はマーケットは昨年の秋口から底固めをしていました。その後、年明け頃から世界の株式市場や高金利通貨にお金が戻り始め、いまや投資家が積極的にリスクを取る“リスクオン”という言葉が盛んに使われるまでになっています。

背景には欧州債務問題に対して一定の方向感が見えてきたこと、あるいはある種の「慣れ」があるのかもしれません。もうひとつは、ひと頃の悲観論に反して、ここのところ予想を上回る経済指標が相次いだ米国景気。昨年進んだ円高も、2月の日銀の金融緩和策発表以降、相対的に金利が低い日本円が売られる格好で一転、円安方向へ向かう動きが見られています。

震災後、私たちは「人が前を向く力」に驚かされましたが、世界経済やマーケットにも本来的に前を向く「回復力」のようなものが備わっているのかもしれません。まだ不透明さは多いものの、こうしたマーケットの力を信じられる人にとっては、今は中長期の資産運用に取り組むべき好機とも考えられます。

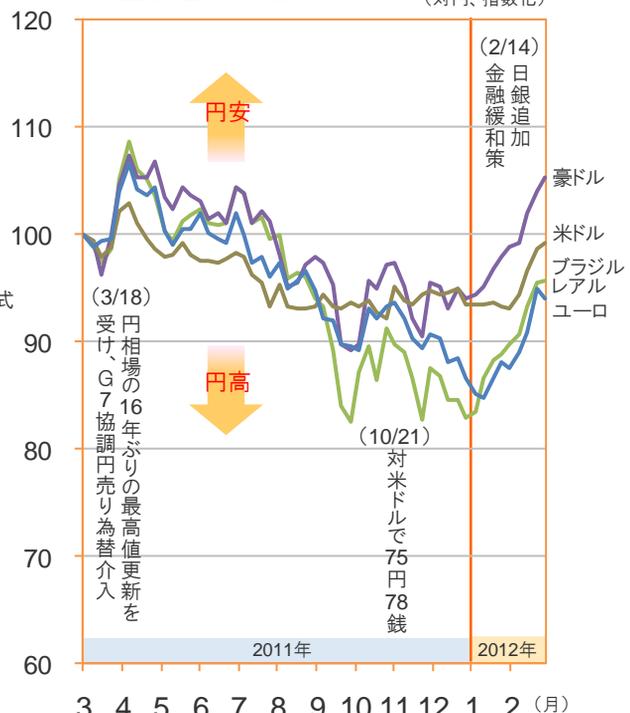
■ 主要指数の推移

(円ベース、指数化)



■ 主要通貨の推移

(対円、指数化)



期間：2011年3月第1週～2012年2月最終週(3月2日まで) ※2011年3月第1週を100とした指数化グラフ

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成(日本株は日経平均、世界REITはS&PグローバルREIT指数、その他の指数はMSCIインデックス)

□当資料は、日興アセットマネジメントが投資信託についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また記載内容の正確性を保証するものではありません。□投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

2 一方で、「オン」「オフ」などに振り回されない部分を

マーケットが“リスクオン”、つまり過剰なリスク回避に走るのではなく、適度なリスク・リターンを追求するようになるのは望ましいことです。しかしいつまた「オフ」になるか、あるいはもっと強烈な「オン」になるかは分かりません。

私たちが震災から学んだことのひとつは、将来に備えて少しずつでもお金を増やしておくことの重要性和、いつでも換金できる流動性ととのバランスでした。めまぐるしいマーケットの動きに翻弄されず、預貯金も含めた金融資産全体のポートフォリオ(資産構成)を見つめ直すことが求められています。

ほど良いリスク・リターンの“スローファンド”を

日興アセットが昨年から提唱している“スローファンド”とは、大きな上昇期待よりも安心して保有できることを重視したファンド選びのコンセプト。リスクオンとかオフなどのマーケット環境とは一線を引いた、金融資産全体を見渡した上での戦略です。

下図のように、仕方なく預貯金に置いてあるような資金の一部を、ゆったりと、かつ換金のタイミングにさほど神経質にならずに済むようなファンドで運用していく考え方は、マーケット状況に関わらず常に必要なものだと日興アセットは考えています。



大きな上昇期待がなくても、心安らかな運用を期待したい。ゆったり投資—スローファンド。

Slow Fund

全資産の利回りは結局のところ平均値に。全体の利回りアップを考えることが重要。

〔例え〕 預貯金：2,500万円 × 0.02%* = 5,000円
 +
 リスク資産：500万円 × 10% = 50万円
 = 50万5,000円

*定期預金金利を想定
 取引に係る手数料や税金等を考慮していません。

リスク資産が10%で運用できたとしても
 総資産3,000万円に対しては、
 1.68%(50.5÷3,000×100)でしかない。

預貯金の一部をスローファンドの
 考え方で活用し、金融資産全体の
 利回りアップをめざす。

nikko am fund academy

□当資料は、日興アセットマネジメントが投資信託についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。

□投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

□当資料の図表等はすべて過去のものであり、将来の市況環境の変動等を約束するものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また記載内容の正確性を保証するものでもありません。

ご不明な点、気になる点などがありましたら、
ぜひ日興AMコールセンターまでお問合せください。

nikko am

 コールセンター
0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00

 facebook  twitter で、
経済、投資の最新情報をお届けしています。